

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございました。
本年も変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

2009年 ニュース・ヘッドライン

- 4月22日 **カスタム・アプリケーションの性能管理を WMI で拡充 — 高度な JMX 実装機能を持った RTView に、新しい WMI アダプタを追加:**
360°の全体観的なアプリケーション性能管理 (APM) において、Java カスタム・アプリケーションの監視と管理を可能にする RTView の高度な JMX 実装機能を補完するものです。(画面 →)


- 5月5日 **Oracle Coherence グリッド・アプリケーションの高度なアラートならびにトラブルシューティング機能の提供を発表:**
RTView for Oracle Coherence が、ヒート・マップ、カスタム・アラート、深い分析機能などによる、最も包括的な監視と管理の実現で、システム運用時の安定性におけるリクス激減を支援します。
- 5月13日 **SL ジャパン、ソフトウェア開発環境展で、CEP (複合イベント処理) エンジンの BAM ダッシュボードとして「RTView」を出展 — 日立製作所ブースでは、Cosminexus ストリームデータ処理基盤製品と SL 社の RTView との接続を実演 (写真 →)**


- 5月26日 **SL ジャパン、WPF (Windows Presentation Foundation) のサポートを発表:**
SL-GMS Developer & Custom Editor for .NET の最新版で、最先端のサード・パーティ・グラフィックスをノンプログラミングで利用できます。(画面 →)


- 6月9日 **Gazillion Entertainment 社が、SL 社の RTView をオンラインゲーム・プレイの監視と分析で選択:**
MMO (大規模多人数オンライン) ゲームの開発・運用でリードする Gazillion 社が、全スタジオで RTView を採用。その柔軟性を活かしてさまざまなチームに対し、カスタム化されたリアルタイムな可視性を提供しています。
- 6月22日 **Solace Systems 社が、リアルタイムなオペレーション・ビジュアルで SL 社と提携、ミッション・クリティカルなネットワーク・データのリアルタイムな可視化を実現: メッセージング・ミドルウェアならびにコンテンツ・ネットワーク・ハードウェアのリーダである Solace 社の Unified Messaging Platform でサポートされている多種類のメッセージングを、リアルタイムに可視化、監視、分析、管理できるようになります。**


- 9月2日 **世界の監視制御システムで稼働し続けるロングセラー「SL-GMS C++/Developer」の新バージョン 6.2d リリース:**
1983 年以來、世界の管制センターや制御室における数千におよぶミッション・クリティカルなリアルタイム監視制御システムの可視化とカスタム・エディタで活躍してきた開発ツール製品です。(写真 →)


- 9月10日 **SL 社、Oracle Coherence グリッド・アプリケーションの可視化と監視でセミナー開催、RTView の Coherence 監視ダッシュボードに新たに追加される「キャッシュ・ビューワー」をデモで初披露:**
RTView を使ってグリッド・クラスターの振る舞いを把握することにより、いかに効率良く運用・管理できるかを具体的に解説しました。(画面 →)


- 9月25日 **SL ジャパン、サイバース主催のアルゴリズム・トレード・テクノロジー・セミナーを共催:**
金融・証券・保険業界を対象に、Sybase RAP - The Trading Edition の CEP (複合イベント処理) エンジンに接続した RTView による、リアルタイム・データの可視化と監視についてご提案しました。(画面 →)


- 10月21日 **リアルタイム・データの可視化と監視ダッシュボード「RTView」の新バージョン 5.5 をリリース:**
RTView 標準ツール製品にはエージェント・データ接続アダプタが新たに追加された他、TIBCO ActiveMatrix BusinessWorks 運用監視ツールである「RTView for APM | BW Monitor」製品がラインアップに加わりました。(画面 →)


- 10月22日 **Windows 7 対応の SL-GMS Developer & Custom Editor for .NET 最新版をリリース:**
監視・制御系アプリケーションのリアルタイム・ダイナミック GUI ならびにアプリケーション固有のカスタム・エディタの開発ツールである SL-GMS Developer & Custom Editor for Microsoft .NET ならびに C++/Developer とそのオプション製品の最新版で、Microsoft Windows 7 をサポートしたことを、その発売日に発表しました。
- 10月26日 **SL ジャパン、リアルタイム・データの可視化と監視ダッシュボードでリードする RTView を ITpro EXPO 2009 に出展 — 日立製作所ブースにおける SOA プラットフォーム Cosminexus に RTView を接続した BAM ダッシュボードの実演で協力:**
- 10月28日 ~ 東京ビッグサイトで開催される ITpro EXPO 2009 で「リアルタイムな可視化と監視ダッシュボードの適用 — インフラ/アプリ監視から BAM するには」をテーマに、RTView を出展し、「SOA テーマ・セッション」セミナーにて講演しました。(写真 →)



SL-GMS を使って国内で開発される監視制御システムで良く実装される機能の一つ

ブリンク(点滅)表示は、画面の特定部分の色を定周期で点滅・変更することにより、特別の注意を喚起するもので、何らかの対応処理が行われている最中であることや、平常ではない状態が発生していることを示すのに使用されています。ブリンク表示により、事態の変化を極めて直観的に把握することができ、使用する色、点滅範囲、点滅間隔を考慮することにより、発生している事態の段階をさまざまに表現することが可能です。

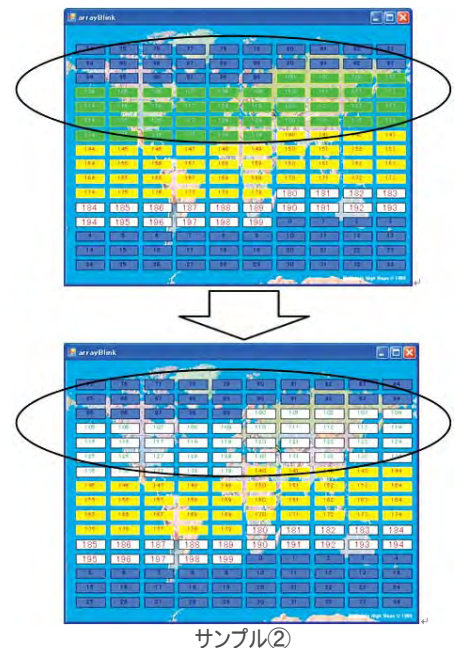
「ブリンク」機能とは、周期的にオブジェクトの色や可視性を変更することであり、オブジェクトの色を動的に変更するダイナミクスやオブジェクトの可視性をコントロールするダイナミクスを持った SL-GMS Developer for .NET では、これらの属性を周期的に変更することにより、アプリケーションで容易に「ブリンク」機能を実現できます。

SL ジャパンでは、SL-GMS Developer for .NET で「ブリンク」機能を実装するサンプルプログラムを4種類ご用意しており、保守サービス契約をされているお客様に、ご希望に応じてご提供しています：

- ① 2色以上のカラー・インデックスを順次切り替えて、指定色によるシーケンシャルな色(番号)変化を実現する、基本的な実装例
- ② ダイナミクスに条件を付けて、複数のブリンク・パターンを開始・停止するもので、一つのブリンク・パターンで、塗りつぶし色、線色、テキスト色のそれぞれについて、変化する色の順番を指定することが可能(画面 →)
- ③ 上記に可視性のオン/オフによるブリンク機能を実装した例
- ④ さらに複数オブジェクトの表示切り換えによるブリンク機能を追加した例

以上のサンプルでは、実行時における色変更や切り換えは、すべてブリンク・マネージャとアプリケーションが管理します。

このブリンク機能の実装サンプル・デモ(ビデオ)は、<http://www.sl-j.co.jp/demovideo/dotnet/blink/blink.html> でご覧いただけます。また SL-GMS ユーザの方を対象にした技術資料をご用意しておりますので、ご希望のお客様は sl-sales@sl-j.co.jp までご請求ください。その他、上記サンプル②の Java アプレットによる同じデモは、http://www.sl-j.co.jp/applets_new/javablink/ArrayBlinkDemo.html でご覧いただけます。



RTView で Google マップ を利用した情報の可視化と監視

RTView のカスタム Flex オブジェクトを使用し、Google Maps API for Flash によって実装する適用例

これまで、SL-GMS を使って開発されてきた通信ネットワーク監視、交通管制、設備監視、などのシステムの数々では地図が応用されており、最近では Google マップを利用されているお客様もいらっしゃいます。

リアルタイム・データの可視化と監視ダッシュボードである RTView 製品では、そのカスタム Flex オブジェクト機能によって、グーグル社が提供している Google Maps API for Flash SDK という Adobe Flex/Flash 用の API を使って、Google マップを RTView のオブジェクト(部品)として利用し、リアルタイムな情報の可視化と監視に応用することができます。

カスタム Flex オブジェクトは、RTView ビルダーの Flex グラフ・パレットにあるブランクのオブジェクトで、ユーザ独自の Flex コンポーネントを利用するためのものです。そして、表示する地図の緯度経度、地図タイプの指定、ズーム/パン、オーバービューなどの便利な Google マップの機能を、RTView のオブジェクト・プロパティ・ダイアログから設定できます。そして、地図上にアイコンを表示できる Google マップのマーカを、RTView のデータソースからリアルタイムに来るデータに基づいて、地図上にマーカを配置することができます。

<http://www.sl-j.co.jp/demovideo/ertv/googlemapvideo7/googlemapvideo7.html> で公開している RTView デモ・ビデオでは、Google マップを使って道路交通情報監視に適用した例をご紹介します。交差点マーカや事故発生マーカでクリックしてその詳細状況をドリルダウン表示したり、たとえば渋滞状況をバブル・チャートで表示するといった応用例をご覧いただけます。

また RTView ユーザの方を対象にした技術資料をご用意しておりますので、ご希望のお客様は sl-sales@sl-j.co.jp までご請求ください。



Google マップ応用デモ:
RTView で表示される Google マップ上のマーカをクリックし、RTView の詳細画面にドリルダウン

Real-Time Visibility

年3回発行 2010年1月13日発行 通巻35号



株式会社 SL ジャパン

〒107-0062 東京都港区南青山 3-1-30 エイベックスビル 3階
Tel. 03-3423-6051 Fax. 03-3423-6070 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。